2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	卒業研究 (Graduation Thesis)		
ナンバリングコード	P41703	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 総合レベル ゼミナール
単位数	6	配当学年 / 開講期	4 / 通年
必修・選択区分	必修		
授業コード	P170312	クラス名	小島研究室
担当教員名	小島　康史		
履修上の注意、履修条件	これまでの修得単位数が100単位を超えていることが、唯一の条件です。 自らがテーマを見出し、そのテーマを実現するためにさまざまな表現にチャレンジしてもらいます。このとき、「誰に」「何を」「どのように伝えるのか」という表現の方向性を明確にする必要があります。そのためには常に考え続ける姿勢が求められます。 みなさんの奮起を期待します。		
教科書	特定の教科書は指定しませんが、チャレンジしてみたい表現に関するすべての図書およびWeb上の情報、各種の映像作品等のすべてが「教科書」に該当します。		
参考文献及び指定図書	特定の参考文献や図書は指定しませんが、チャレンジしてみたい表現に関するすべての図書およびWeb上の情報、各種の映像作品等のすべてが「参考文献や図書」に該当します。		
関連科目	これまでに学習した表現に関するすべての科目。		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	自らテーマを発見し、それに何らかの形を与えて表現することに、真剣に向き合うことができる。		10点	10点
【知識・理解】	自らが設定した対象に対して、発見したテーマについて、完全に理解し、情報として正確に発信することができる。		30点	
【技能・表現・コミュニケーション】	発見したテーマを、特定の対象に正確に伝えるための表現を考え出すことができる。		30点	
【思考・判断・創造】	①テーマに対する自らの考え方を、特定の対象に正確に伝えることができる。②情報の伝達や紹介については、さまざまな表現技法や技術を効果的に組み合わせることができる。		20点	

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

○授業の目的・概要等		
授業の目的	学生がもっとも興味を抱く専門領域について担当教員の指導や助言を受けながら、特定の研究テーマに沿った研究活動を行います。①研究テーマの設定②予備調査(文献検索、調査、資料収集)③研究(設計、実験、解析、開発、制作)といった段階を踏みながら卒業研究を進めます。	
授業の概要	この授業は、みなさんが大学教育の中でチャレンジする最後のプロジェクト型授業です。 まず、自らの力でテーマを考え出し、そのテーマを作品化するためのすべてのステップ＝具体的には、資料や情報の収集から整理・分析、企画と構成、スタッフ構成、シナリオ作成、全関係者への連絡を含む制作準備、撮影、編集、マルチオーディオ＝を立案してもらいます。 そして、自らがスケジュール管理を行いながら、ステップを1段ずつ完遂してもらいます。そして最終的には、設定したテーマを表現するために最もふさわしい表現方法を組み合わせて、作品として完成させてもらいます。 この間私は指導教員として、すべてのステップの成果物をチェックしてアドバイスします。みなさんは、受け取ったアドバイスを参考に考え抜き、自らが決断を繰り返しながら「オリジナル」作品を完成させます。制作後の作品は講評をし、論文は添削などをしてフィードバックをします。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
実務経験のある教員による授業科目		

○備考欄

レポート等の学修成果課題のフィードバック方法は、教員のコメントを添えて返却します。

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 : 卒業研究（Graduation Thesis ）　授業コード:P170312
担当教員: 小島　康史

学修内容

1. 卒業研究テーマの決定
制作、あるいは研究の方向性を指導教員に提示する。卒業研究テーマを決定する。

予習: 卒業研究テーマを決定するための専門書・先行文献を用いた予習　（約6.0h）
復習: 指導教員より指摘された箇所の調査および分析　（約6.0h）

2. 先行文献の調査
研究計画書を作成するために、先行文献を調査する。

予習: 研究計画書を作成するための専門書・先行文献を用いた調査および分析　（約6.0h）
復習: 指導教員より指摘された箇所の調査および分析　（約6.0h）

3. 情報の整理・分析
収集した情報を選抜・精選して整理し、テーマ実現のために活用できるかどうかの判断をしたうえで指導教員に提示し、確認・指導を受ける。

予習: 研究計画書を作成するための専門書・先行文献を用いた調査および分析　（約6.0h）
復習: 指導教員より指摘された箇所の調査および分析　（約6.0h）

4. 研究計画書の作成
先行文献や参考文献の調査をもとに、研究計画書を作成する。

予習: 研究計画書を作成するための専門書・先行文献を用いた調査および分析　（約6.0h）
復習: 指導教員より指摘された箇所の調査および分析　（約6.0h）

5. 中間発表の準備（1）
研究計画書に基づき、中間発表に向けて卒業研究に取り組む。

予習: 研究計画書に基づき各自による調査および研究　（約6.0h）
復習: 指導教員より指摘された箇所の調査および分析　（約6.0h）

6. 中間発表の準備（2）
研究計画書に基づき、中間発表に向けて卒業研究に取り組む。

予習: 研究計画書に基づき各自による調査および研究　（約6.0h）
復習: 指導教員より指摘された箇所の調査および研究と中間発表のための準備　（約6.0h）

7. 中間発表
これまでの研究成果をまとめ、中間発表を行う。

予習: 教員より指摘された箇所の調査および分析と中間発表のための準備　（約6.0h）
復習: 中間発表で指摘された箇所について調査および研究　（約6.0h）

8. 卒業研究論文の作成（1）
研究計画書にもとづき、卒業研究に取り組む。

予習: これまでの成果をまとめた論文の作成　（約6.0h）
復習: 指導教員に指摘された箇所の研究と卒業論文の執筆　（約6.0h）

○授業計画　科 目 名 : 卒業研究（Graduation Thesis ）　授業コード:P170312
担当教員: 小島　康史

学修内容

9. 卒業研究論文の作成（2）
研究計画書にもとづき、卒業研究に取り組む。

予習: 引き続き論文の執筆　（約6.0h）
復習: 指導教員に指摘された箇所の研究と卒業論文の執筆　（約6.0h）

10. 卒業研究論文の作成（3）
研究計画書にもとづき、卒業研究に取り組む。

予習: 引き続き論文の執筆　（約6.0h）
復習: 指導教員に指摘された箇所の研究と卒業論文の執筆　（約6.0h）

11. 卒業研究論文の提出
卒業研究の内容を論文にまとめ、提出する。

予習: 引き続き論文の執筆と提出の準備　（約6.0h）
復習: 口頭試問のための準備　（約6.0h）

12. 卒業研究発表会（口頭審問）
卒業研究の発表を行う。

予習: 口頭試問のための準備　（約6.0h）
復習: 口頭試問で指摘された箇所について検討を行い、論文を修正　（約6.0h）

13. 卒業研究論文の修正（1）
口頭審問で指摘された問題点について検討を行い、論文の修正を行う。

予習: 口頭試問で指摘された箇所について検討を行い、論文を修正　（約6.0h）
復習: 指導教員に指摘された箇所の修正　（約6.0h）

14. 卒業研究論文の修正（2）
口頭審問で指摘された問題点について検討を行い、論文の修正を行う。

予習: 指導教員に指摘された箇所の修正　（約6.0h）
復習: 教員より指摘された箇所の調査・分析と最終発表の準備　（約6.0h）

15. 卒業研究最終発表会
ポスター発表を行う。

予習: 教員より指摘された箇所の調査・分析と最終発表の準備　（約6.0h）
復習: 卒業研究の論文と梗概の最終版の作成と提出　（約6.0h）

16.

予習:
復習: